

## 腎臓に発生した骨外性骨肉腫の犬の1例

望月俊輔<sup>1)†</sup> 前田浩人<sup>1)</sup> 砂川知宏<sup>1)</sup> 谷川滋子<sup>1)</sup>  
堀江和香<sup>1)</sup> 三品美夏<sup>2)</sup> 渡邊俊文<sup>2)</sup>

- 1) 北海道 開業（前田獣医科医院：〒053h0851 苫小牧市山手町1h4h8）  
2) 麻布大学附属動物病院（〒229h8501 相模原市淵野辺1h17h71）

（2008年12月8日受付・2009年3月18日受理）

### 要 約

血尿と左腎腫大を呈する8歳、避妊雌のラブラドル・レトリバーに対し腎臓腫瘍を疑い左腎臓摘出術を実施した。摘出した左腎は病理組織学的検査により骨外性骨肉腫と診断された。手術後にカルボプラチンによる化学療法を実施したところ、術後248日を経過した現在においても局所再発や遠隔転移は認められず良好な予後が得られている。

——キーワード：犬，骨外性骨肉腫，腎臓腫瘍。

----- 日獣会誌 62, 724～727 (2009)

---

† 連絡責任者：望月俊輔（前田獣医科医院）

〒053-0851 苫小牧市山手町1-4-8 ☎0144-74-4338 FAX 0144-74-7295 E-mail : qqwd5s5d@trad.ocn.ne.jp